



2022年度報告分

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム 主な変更点について

2022年3月



概要

社会福祉法人の財務諸表等電子開示システム（以下「本システム」といいます。）の2022年度の稼働にあたり、本システムの主な変更点について説明します。

変更点① サービス区分コードの更新（追加、削除および名称変更）

変更点② 算定シートにおける数値の変更

変更点③ 第一号第一様式（法人単位資金収支計算書）の欄外に予備費の注記を記述できるように追加

変更点④ 入力シートの現況報告書および勘定科目において、エラーチェックを追加



目次

1. 入力シート

- | | |
|--|-----|
| (1) サービス区分コードの更新（追加、削除および名称変更） | 3~4 |
| (2) 算定シートにおける数値の変更 | 5 |
| (3) 第一号第一様式（法人単位資金収支計算書）の欄外に予備費の注記を記述できるよう追加 | 6 |
| (4) 入力シートの現況報告書および勘定科目において、エラーチェックを追加 | 7 |

(1) サービス区分コードの更新（追加、削除および名称変更）

サービス区分コードの追加と削除を行いました。追加されたコードと削除されたコードは、以下の表のとおりです。

- 追加されたコード

サービス区分コード	追加されたサービス区分
02091801	子育て援助活動支援事業
02101901	養子縁組あつせん事業
02180102	生計困難者に対する無料低額介護医療院利用事業
03260209	地域密着型サービス事業（地密型通所介護）
06260209	（公益）地域密着型サービス事業（地密型通所介護）

- 削除されたコード

サービス区分コード	削除されたサービス区分
02110201	寡婦日常生活支援事業

1.入力シート

UPDATE

(1) サービス区分コードの更新（追加、削除および名称変更）

サービス区分コードの名称が変更されました。変更内容は、以下の表のとおりです。

サービス区分コード	旧サービス区分名	新サービス区分名
01020601	情緒障害児短期治療施設	児童心理治療施設
02110101	母子家庭等日常生活支援事業	ひとり親家庭等日常生活支援事業
02110301	母子福祉施設（母子福祉センター）	母子・父子福祉施設（母子・父子福祉センター）
02110302	母子福祉施設（母子休養ホーム）	母子・父子福祉施設（母子・父子休養ホーム）
03260110	居宅サービス事業（特定施設入居生活介護）	居宅サービス事業（特定施設入居者生活介護）
03260204	地域密着型サービス事業（居宅介護事業）	地域密着型サービス事業（小多機居宅介護）
03260205	地域密着型サービス事業（共同生活介護）	地域密着型サービス事業（認知症共同生活介護）
03260206	地域密着型サービス事業（入居者生活介護）	地域密着型サービス事業（地密型特定施設）
03260207	地域密着型サービス事業（地域型老人施設）	地域密着型サービス事業（地密型老人福祉施設）
06260110	（公益）居宅サービス事業（特定施設入居生活介護）	（公益）居宅サービス事業（特定施設入居者生活介護）
06260204	（公益）地域密着型サービス事業（居宅介護事業）	（公益）地域密着型サービス事業（小多機居宅介護）
06260205	（公益）地域密着型サービス事業（共同生活介護）	（公益）地域密着型サービス事業（認知症共同生活介護）
06260206	（公益）地域密着型サービス事業（入居者生活介護）	（公益）地域密着型サービス事業（地密型特定施設）
06260207	（公益）地域密着型サービス事業（地域型老人施設）	（公益）地域密着型サービス事業（地密型老人福祉施設）

変更点①

(2) 算定シートにおける数値の変更

算定シートにおける数値の変更を行いました。（3.「再取得に必要な財産」）

建設単価等上昇率				自己資金比率					(2) 大規模修繕に必要な費用		
② 1㎡当たり単価上昇率				①、②のいずれか 高い方の率	③一般的自己 資金比率	④建設時自己資金比率		③、④のいずれか 高い方の率	合計額	減価償却累計額 (a)	一般的大規模修繕 費用比率 (b)
一般的1㎡当たり 単価 (a)	当該建物の建設時の取 得価額 (b)	建設時延べ床 面積 (c)	a/ (b/c)			建設時自己資金 (d)	d/b				
290,000	1,500	-	-	1	24%	-	-	24.0%	120	500	23%
290,000	310,600	-	-	0.999	24%	-	-	24.0%	0	0	23%
									120		

算定シートにおける数値変更①

3.「再取得に必要な財産」、(1) 将来の建替費用における建設単価等上昇項目の②1㎡当たり単価上昇率のうち、一般的1㎡当たりの単価が、**250,000**から**290,000**へ変更になりました。

3.「再取得に必要な財産」、(1) 将来の建替費用における自己資金比率項目の③一般的自己資金比率が、**22%**から**24%**へ変更になりました。

算定シートにおける数値変更②

3.「再取得に必要な財産」、(2) 大規模修繕に必要な費用項目の一般的大規模修繕費用比率が、**30%**から**23%**へ変更になりました。

1.入力シート

UPDATE

(3) 第一号第一様式（法人単位資金収支計算書）の欄外に予備費の注記を記述できるよう追加

第一号第一様式（法人単位資金収支計算書）の欄外に予備費の注記を記述できるようになりました。

第一号第一様式（第十七条第四項関係）

法人単位資金収支計算書

(自) 令和3年4月1日 (至) 令和4年3月31日

(単位：円)

勘定科目	予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)	備考
介護保険事業収入		187,200	-187,200	
老人福祉事業収入		57,800	-57,800	
児童福祉事業収入		38,400	-38,400	
支				
出				
長期運営資金借入金元金償還支出		4,800	-4,800	
役員等長期借入金元金償還支出		4,800	-4,800	
長期貸付金支出		4,800	-4,800	
投資有価証券取得支出		4,800	-4,800	
積立資産支出		9,800	-9,800	
その他の活動による支出		4,800	-4,800	
その他の活動支出計(8)	0	33,800	-33,800	
その他の活動資金収支差額(9) = (7) - (8)	0	4,800	-4,800	
予備費支出(10)			0	
当期資金収支差額合計(11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	350,400	-350,400	
前期末支払資金残高(12)		1,400	-1,400	
当期末支払資金残高(11) + (12)	0	351,800	-351,800	

第一号第一様式（法人単位資金収支計算書）の欄外に予備費の注記を記載できるようになりました。第一号第一様式（法人単位資金収支計算書）の表下から、**10行まで**記載可能です。

一行につき、100文字程度が目安となります。それ以上の記載を行うと、印刷時や公開時のPDFにおいて、印刷範囲が横長となり、文字等の確認が難しくなるので、ご注意ください。

変更点③

1.入力シート

UPDATE

(4) 入力シートの現況報告書および勘定科目において、エラーチェックを追加

財務諸表等入力シートの現況報告書シートおよび勘定科目シートにおいて、エラーチェックが追加されました。

場所	条件	エラーメッセージ
- 現況報告書 1. 基本情報 (5) 法人区分	(7) 法人の名称に「社会福祉協議会」を含んで(5) 法人区分で「02 社会福祉協議会」以外を選択している場合	法人名称に社会福祉協議会が設定されています。社会福祉協議会の場合、法人区分は「02 社会福祉協議会」を選択してください。
- 現況報告書 1 4. ガバナンスの強化・財務規律の確立に向けた取組状況	(1) 会計監査人非設置法人における会計に関する専門家の活用状況の①実施者の区分で「税理士」又は「税理士法人」を選択し、③業務内容で「イ 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援」以外を選択している場合	実施者の区分に「税理士」又は「税理士法人」を選択した場合、業務内容は、「イ 財務会計に関する事務処理体制の向上に対する支援」を選択してください。
- 勘定科目 「社会福祉協議会 用科目設定」	(5) 法人区分を「02 社会福祉協議会」に設定せずに勘定科目において「社会福祉協議会用科目」を「2 する」に選択している場合	法人区分に「02 社会福祉協議会」以外の法人区分を選択した場合、勘定科目の社会福祉協議会用科目設定を「2 する」に設定することはできません。その場合は、「1 しない」を選択してください。

変更点④